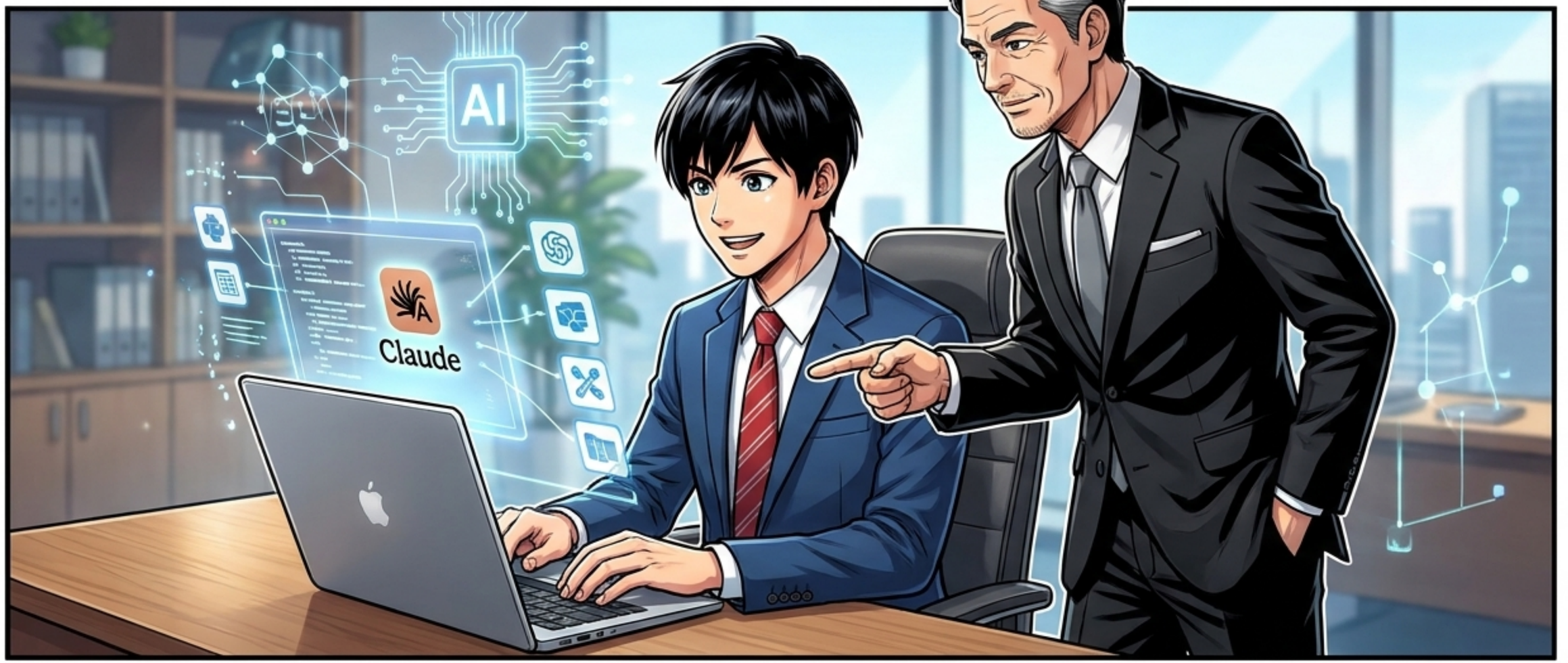
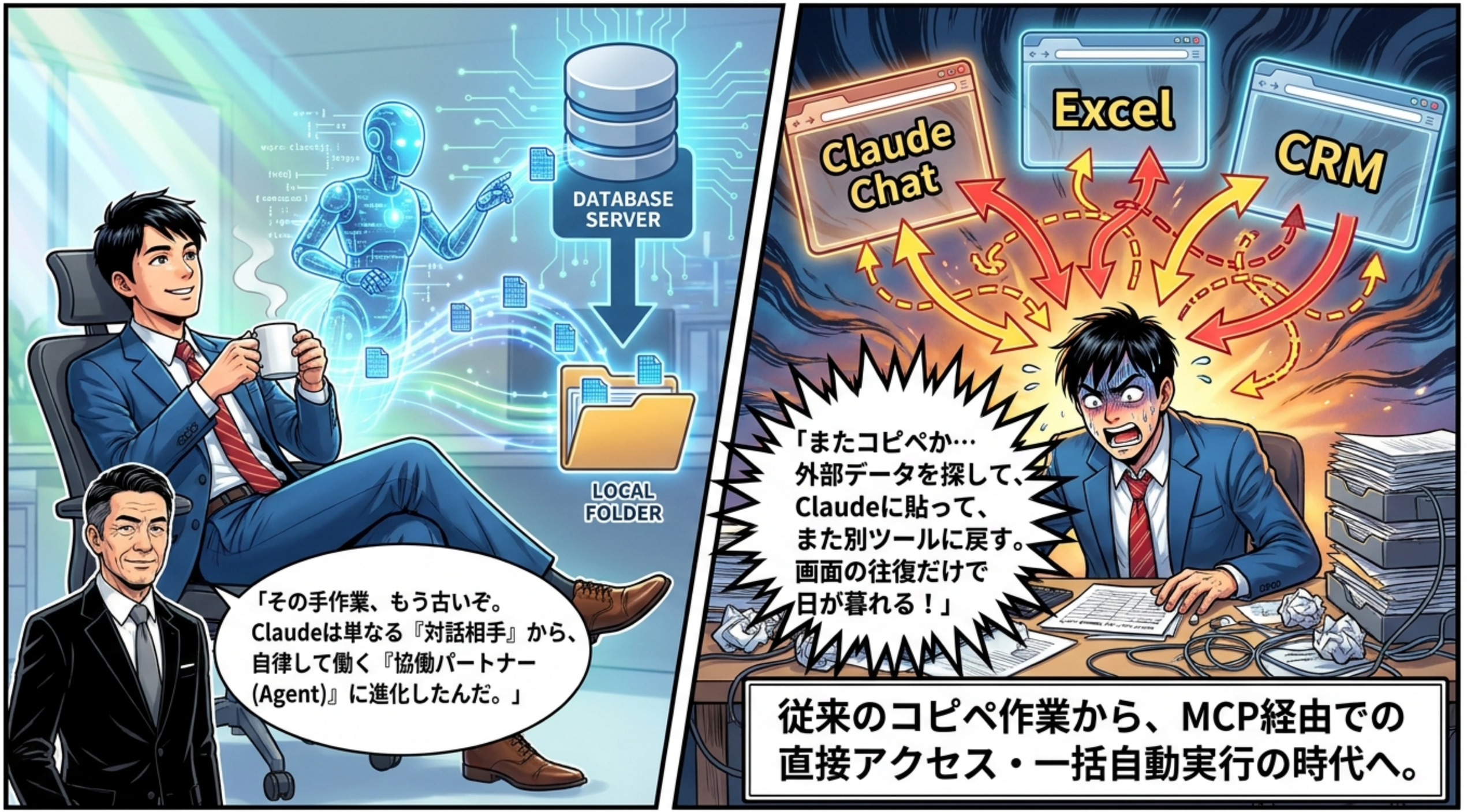
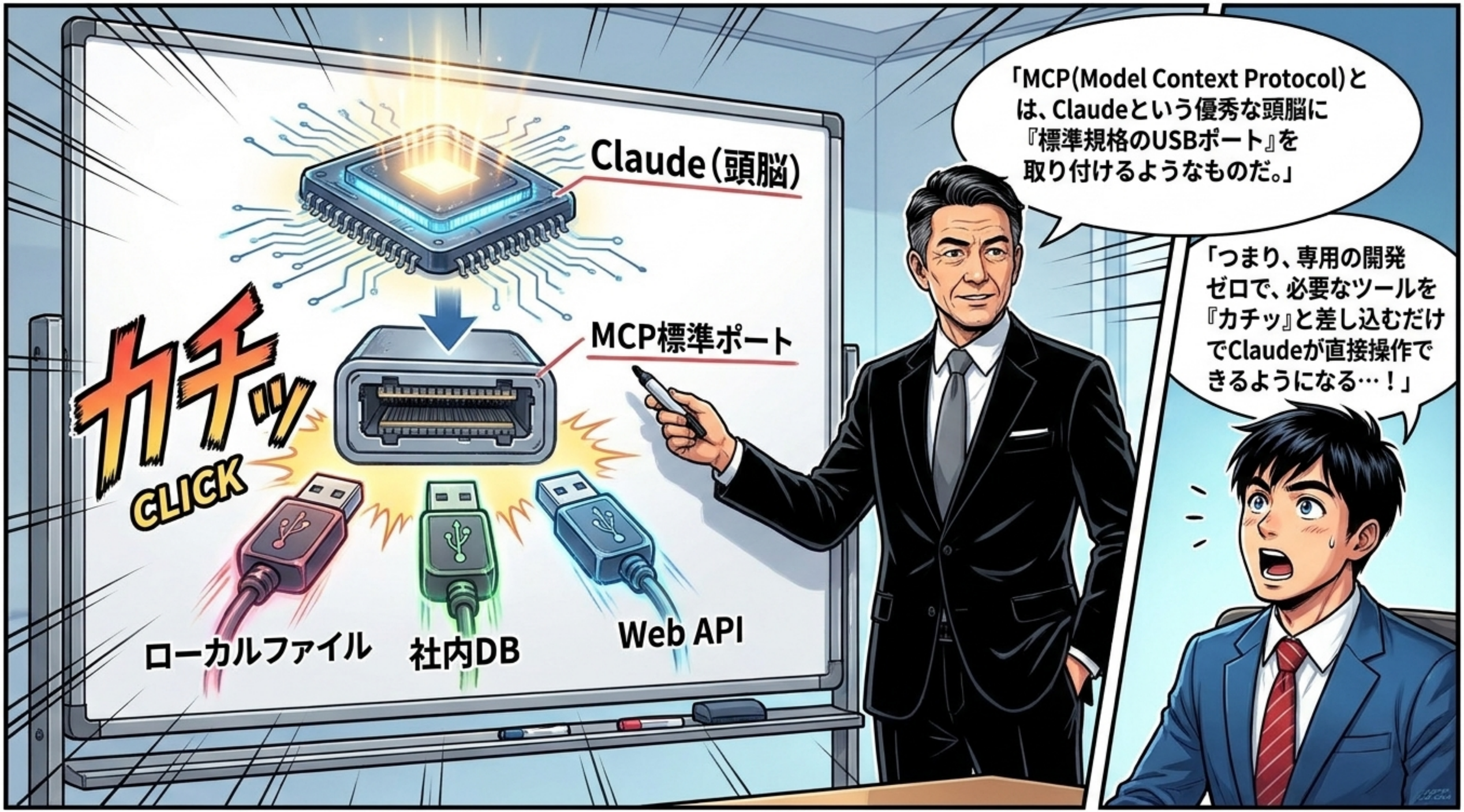
実践ビジネス漫画マニュアル

【完全ガイド】Claudeで世界とつながる！

MCPと外部ツール連携で業務を自動化する実践手順書



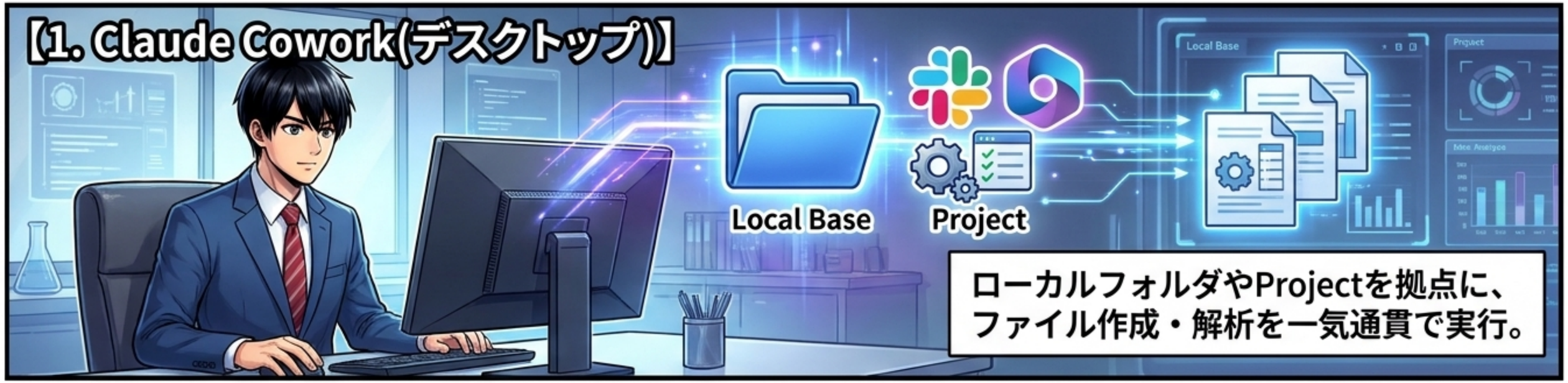

DATABASE SERVER
LOCAL FOLDER
「その手作業、もう古いぞ。
Claudeは単なる『対話相手』から、
自律して働く『協働パートナー
(Agent)』に進化したんだ。」
Claude Chat
Excel
CRM
「またコピペか…
外部データを探して、
Claudeに貼って、
また別ツールに戻す。
画面の往復だけで
日が暮れる！」
従来のコピペ作業から、MCP経由での
直接アクセス・一括自動実行の時代へ。


Claude（頭脳）
MCP標準ポート
カチッ
CLICK
ローカルファイル
社内DB
Web API
「MCP(Model Context Protocol)とは、Claudeという優秀な頭脳に『標準規格のUSBポート』を取り付けるようなものだ。」
「つまり、専用の開発ゼロで、必要なツールを『カチッ』と差し込むだけでClaudeが直接操作できるようになる…！」


「デジタルの世界だけじゃない。最新の『MHS(Model Hardware Standard)』を物理世界の機器まで制御できる。」
「データ操作から物理機器の制御まで、完全にシームレスだ…！」
SAFE ZONE
・顕微鏡の自動制御（偽色処理・トラッキング）
・ロボットアームの安全制御（セーフティ領域の死守）
・創薬ラボでの液相ハンドリング（気泡検知・自動調整）


MCP接続のセットアップ
(claude_desktop_config.json または
コマンドラインでのプラグイン追加)
スッ
セキュリティ確認:
Claudeが
/Users/username/Desktop/WorkFolder
内のファイルを読み込もうとしています。
[拒否 (Deny)]
[許可 (Allow)]
ガッ
「初回アクセス時には必ず
必ずこのポップアップが出る。
自動化を進める上で、
ユーザー自身の『許可(Allow)』が
安全の要(かなめ)になるんだ。」
「なるほど、
ここで『status』を
認識すれば認識されて
いるかわかるんですね。」

日常業務アプリ連携の2つのアプローチ






「勝手に書き換えさせず、人間が最終確認しやすいUIになっているのがポイントだ。」
[新しい連絡先レコードを作成する]
[アカウントのみに記録]
[スキップ
照合完了:
Sarah Chen
[緑マーク: 準備完了]
確認が必要:
alex@newco.io
[黄マーク: 一致なし]
『今日の通話をSalesforceに記録して。ただし保存前にプレビューを見せて』と…
/setup-cowork

高度なエージェントスキルと自律ループ (Claude Code)





/effort max:
許容される最大リソースを投入し、最高難易度の問題を解決。

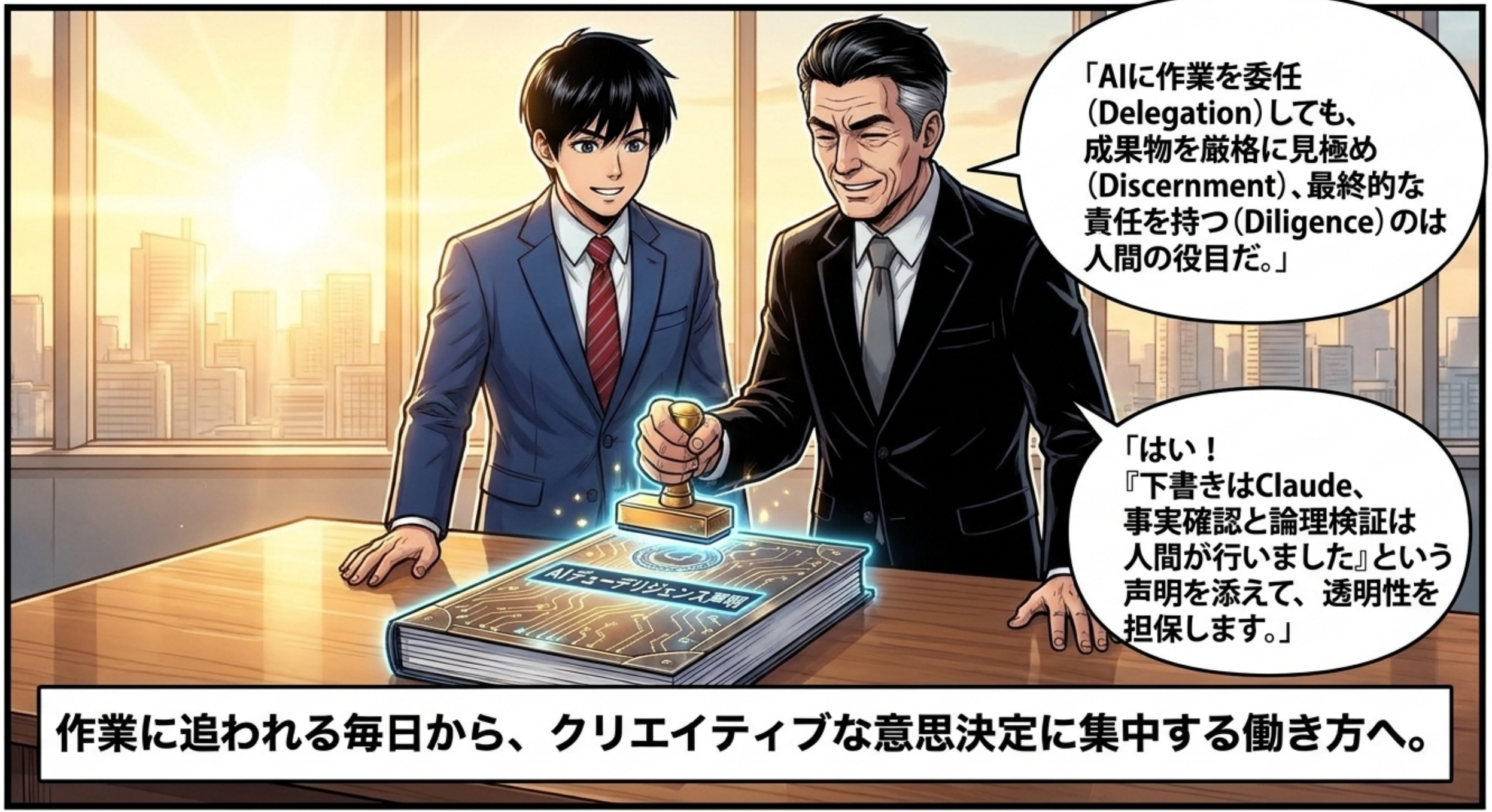
/context & /compact:
メモリ使用量を確認し、会話履歴を圧縮して空き容量を確保。

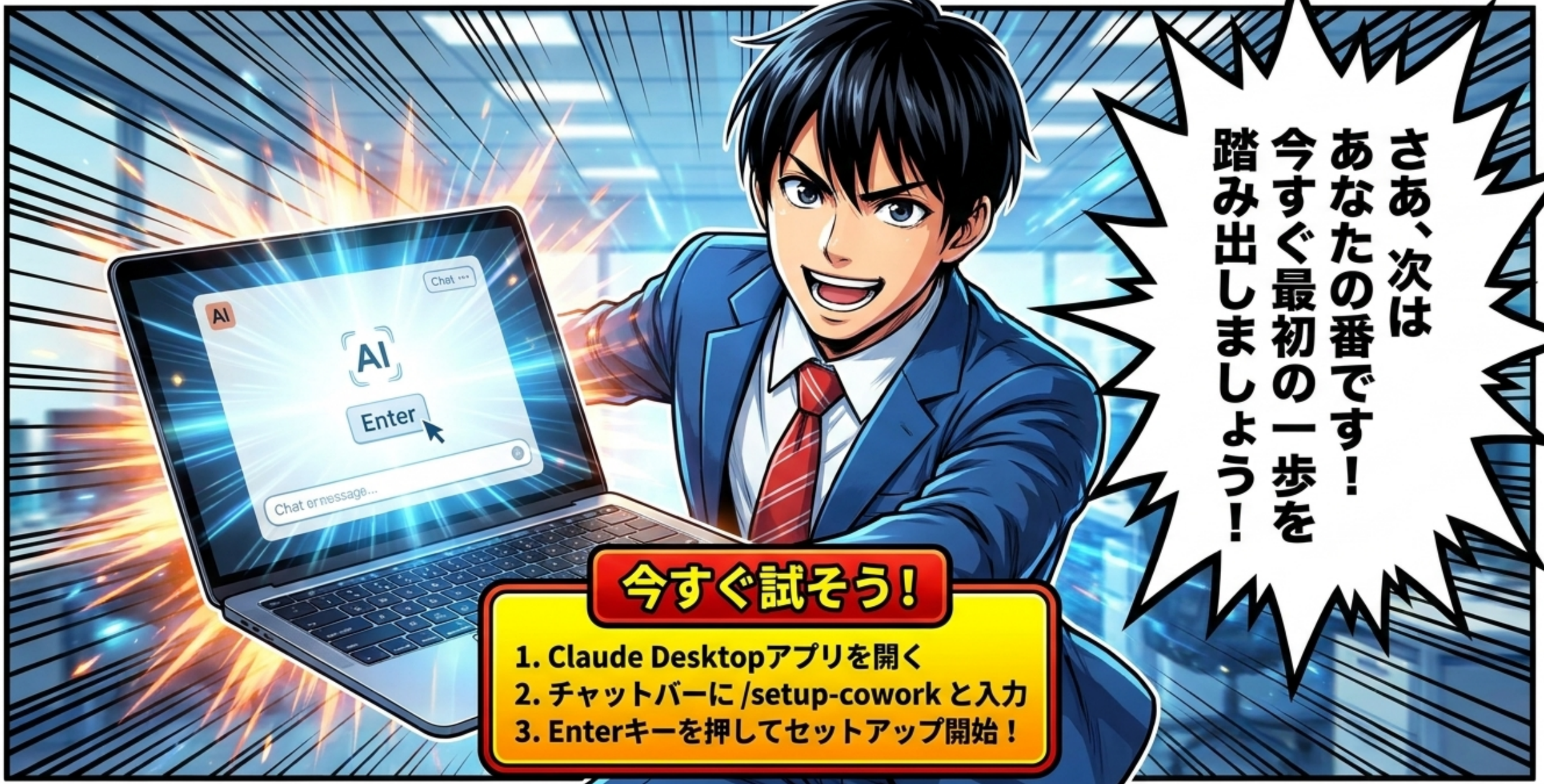
CLAUDE.md:
プロジェクトの固有ルール（コード規約や禁止事項）を永続メモリとして自動読み込み。

Ultracode:
複数のサブエージェントを裏で並列実行。

【重要】アーティファクト効果（Artifact Effect）の罠




「AIに作業を委任（Delegation）しても、成果物を厳格に見極め（Discernment）、最終的な責任を持つ（Diligence）のは人間の役目だ。」
「はい！『下書きはClaude、事実確認と論理検証は人間が行いました』という声明を添えて、透明性を担保します。」
AIデューデリジェンス声明
作業に追われる毎日から、クリエイティブな意思決定に集中する働き方へ。



圧倒的な快適さとワクワク感を、あなたの業務でも体感してください。